

35. 高齢者が繋がる場づくり

グループ名 認知症カフェ「なごみ」実行委員会

代表者 谷口 岩人

1 活動の目的

認知症があっても安心して生活できるまちを実現するために、認知症の人やその家族、地域住民、専門職が気軽に交流できる場を設け、認知症サポーターの活動を掘り起こし認知症に対する知識や技術を高め、地域において活躍できる認知症サポーターを育成して、市内各地域に認知症カフェを広げることに貢献する。

2 活動概要

①開催日 1回／月 第一金曜日 13:30～15:30

②会場 西一会館 大会議室（NPO法人ユー・アンド・アイ）

③内容 臨床美術、ボランティア団体による歌ごえ等のイベント、手芸ものづくり、お遊びコーナー（数字盤、ビー玉等のゲーム、カロム、麻雀など）
脳トレゲーム、みんなで歌おう、認知症何でも相談、飲み物と茶菓子

④プログラム ・オープニング（脳活ゲームなど）
・当日のメインコーナー（臨床美術、よもやま劇場など）
・自由参加コーナー（手芸ものづくり、お遊びゲームなど）
・認知症なんでも相談コーナー
・クロージング（みんなで歌おう）

⑤参加条件 特になし、市内全域から自由参加
視察、見学などを含めて市外からも受け入れている
参加費 200円

⑥実行委員会 ・認知症キャラバンメイト 11人
・認知症の人と家族の会 3人
・認知症サポーター 5人

⑦広報活動 「なごみ」の開催報告も兼ねた広報紙「なごみ」を発行し、活動全体の

PR

と開催案内をしている

⑧研修・交流 他市、他地域の「カフェ」に出掛けて学ぶことと、他市域からの見学

を積極的に受け入れて交流をしている

⑨参加者の実績 35人／月平均 （425人／年間累計）

⑩その他 「なごみ」の実績と経験データなどを認知症キャラバンメイトの定例会を通じて行政の認知症対策などにフィードバックしている

3 決算報告書

収 入	大同生命厚生事業団助成金	100,000円
支 出	講師への謝礼	22,000円
	臨床美術	17,000円
	よもやま劇場	5,000円
	会報等印刷代	25,267円
	スタッフ研修費	16,590円
	事務用品等	17,251円
	備品購入	19,137円
	ラジカセ	12,711円
	けん玉	6,426円
	合 計	100,245円

4 写真による説明



購入備品（けん玉）



購入備品（ラジカセ）



会場風景



オープニング



なんでも相談



臨床美術教室



手芸サークル